

10月4日さいたま市長メッセージ

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

さて、いよいよ10月7日から「さいたま国際芸術祭2023」が開幕します。さいたま国際芸術祭は、さいたま市を舞台に3年に一度開催される芸術の祭典で、今回で3回目の開催となります。

2016年に一回目の芸術祭を開催して以来、文化芸術を活かした地域の活性化や都市の魅力向上を目指し、文化芸術都市としてのさいたま市を創造するため、国内外のアーティストと共に展開しています。

今回のテーマは「わたしたち」です。埼玉に創作活動の拠点をもち、全国的に活躍している現代アートチーム「目[mé]」がディレクターとなり、国内外の新進のアーティストが参加するアートプロジェクトや市民が参加する市民プロジェクトのほか、市の文化資源を活用した連携プロジェクトといった多彩な芸術イベントが行われます。

市民と市民、市民とアーティスト、アーティストと地域が交流する機会を創出する「共につくる、参加する」市民参加型の芸術祭として、さいたま市内で広く開催してまいります。

会期は12月10日までの65日間で、旧市民会館おおみやをメイン会場に市内各所で開催されます。

ポストコロナの時代に、文化芸術のもつ様々な力で、地域を、さいたま市を元気にしていきましょう。チケットの情報やイベント予約は、さいたま国際芸術祭のホームページからご確認ください。皆さんのご参加、ご来場をお待ちしています。